

昭和大学100周年に向けて ～これからの看護専門学校のヴィジョン・ミッション～

2028年に創立100年を迎える昭和大学とともに育ち、長い歴史と伝統を持つ昭和大学医学部附属看護専門学校は、令和7年4月から昭和医科大学附属看護専門学校と校名が変更し、新たな飛躍とさらなる発展が期待されている。

医系総合大学の昭和医科大学の附属として、チーム医療の担い手を育成する大学の教育理念を共有し、国内では他に類のない恵まれた学習環境*を活用して、良き看護師を目指す数多くの学生が全国から集まり、社会とチーム医療に貢献する優れた看護師を育成する全国トップクラスの教育を行います。今後の本校が目指すビジョン（方針）とミッション（使命）と、それを実現するための本校の特色ある学修目標と学習方法を例示します。

*全国トップクラスの学修環境：大学附属8病院（ベッド数3246床）での実習、附属病院に勤務する実習担当教員（約100人）や専門看護師・認定看護師から最新・最善の指導を受けられることなど

【ビジョン】

本校は8病院の実習環境と4つの学部を持つ医系総合大学付属の看護専門学校として、患者中心のチーム医療を担う優れた看護師を育成する日本一の学校を目指します。

【ミッション】

- 真心をもって他者を尊重し、高い共感力をもって互いに理解しあい協力する看護師を育てます。
- 多様性を増す社会と医療に対応できる高い看護実践能力を発揮する看護師を育てます。
- 病院と地域の様々な環境で、患者中心のチーム医療を積極的に実践する看護師を育てます。

【ビジョン・ミッションを実現するための取り組み】

◎チーム医療の演習・実習の拡充

大学学部生とのPBLチュートリアル（グループ討議）

※現在は医学部3年生と看護専門学校2年生の合同PBLを実施中
附属病院における大学学部生との合同実習と多職種スタッフによる指導

◎高機能シミュレーターを活用した実習

大学各学部が所有する多彩な医学教育・研修用シミュレーターを利用
富士吉田校舎での高機能解剖シミュレーターを用いた実習

◎SP（模擬患者）が参加した多様なコミュニケーション演習

大学各学部の医療コミュニケーション教育に協力しているSPとの演習

◎地域と連携した新たな教育プログラムの導入

附属病院での総合サポートセンター実習（ソーシャルワーカーや退院調整に関する実習など）

◎学生が主体となった地域との連携

イベントの参加・企画、ボランティア活動など

（2024年度 看護専門学校ワークショップでの討議をもとに作成）

